



2021年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月9日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古塚 孝志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 新部 雅彦 TEL 078-435-2800
 定時株主総会開催予定日 2021年7月28日 配当支払開始予定日 2021年7月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年7月29日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期の連結業績（2020年5月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	43,762	△8.2	1,107	133.0	1,271	115.1	1,165	503.1
2020年4月期	47,667	△6.5	475	△80.4	591	△76.0	193	△88.8

(注) 包括利益 2021年4月期 1,227百万円 (740.6%) 2020年4月期 145百万円 (△91.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	43.84	—	4.2	3.6	2.5
2020年4月期	7.27	—	0.7	1.8	1.0

(参考) 持分法投資損益 2021年4月期 ー百万円 2020年4月期 ー百万円

(注) 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率の算定における自己資本及び総資産については、期末自己資本及び期末総資産を使用しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	35,318	28,187	79.8	1,060.38
2020年4月期	33,324	27,801	83.4	1,046.15

(参考) 自己資本 2021年4月期 28,187百万円 2020年4月期 27,801百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	2,763	△2,499	△733	13,018
2020年4月期	2,481	△3,363	331	13,483

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期	—	9.00	—	23.00	32.00	850	440.1	3.1
2021年4月期	—	9.00	—	11.00	20.00	531	45.6	1.9
2022年4月期(予想)	—	9.00	—	11.00	20.00		74.7	

(注) 純資産配当率(連結)における1株当たり純資産については、期末1株当たり純資産を使用しております。

3. 2022年4月期の連結業績予想（2021年5月1日～2022年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,297	7.7	472	154.3	501	49.5	314	21.0	11.83
通期	45,382	3.7	1,081	△2.4	1,120	△11.9	711	△38.9	26.76

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年4月期	26,788,748株	2020年4月期	26,788,748株
2021年4月期	205,886株	2020年4月期	213,170株
2021年4月期	26,580,760株	2020年4月期	26,572,759株

(参考) 個別業績の概要

2021年4月期の個別業績（2020年5月1日～2021年4月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	43,578	△8.3	1,152	125.6	1,309	111.3	1,051	374.3
2020年4月期	47,508	△6.5	511	△79.2	619	△75.2	221	△87.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期	39.56	—
2020年4月期	8.34	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	35,306	28,187	79.8	1,060.38
2020年4月期	33,442	27,926	83.5	1,050.82

(参考) 自己資本 2021年4月期 28,187百万円 2020年4月期 27,926百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は2021年6月10日（木）に機関投資家及びアナリスト向けWEB決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(追加情報)	14
(表示方法の変更)	15
(連結株主資本等変動計算書関係)	15
(セグメント情報等)	17
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
(開示の省略)	17
4. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年5月1日～2021年4月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続きました。2020年4月に発出された最初の緊急事態宣言の解除後は、感染拡大防止策と経済活動との両立が図られ、業界・業種によって明暗はあるものの、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症はその後も収束の兆しは見られず、緊急事態宣言が繰り返し発出されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

中食・惣菜業界におきましては、ライフスタイルの変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり消費によって、自宅での食事の機会が増えて中食市場が徐々に回復する一方、外食企業や飲食店のテイクアウト参入や、フードデリバリーの急激な需要増加など、業態の垣根を越えた競争が激化しております。

このような状況の中、当社グループは「The Mirai Salad Company」として、新たな生活様式の下においても人とのつながりや楽しさを感じられる食卓提案を行い、お客様の豊かなライフスタイルの創造に貢献できるように取り組んでまいりました。コロナ禍において主に都心・駅立地の店舗を中心に来店客数が減少する中、より安心・安全でスピーディに購入していただけるパック商品の品揃え強化や、EC・デジタルを活用した会員サイト構築によるWEB予約やオンラインショップの利便性の向上に取り組みました。また、商品アイテム数の集約や店舗での廃棄ロス削減などをはじめとする抜本的なコスト構造の見直しを軸とした経営体質の強化を行いました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

ブランド		2020年4月期		2021年4月期		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
		百万円	%	百万円	%	%
RF1	サラダ	16,558	34.7	15,175	34.7	91.7
	フライ	6,326	13.3	5,392	12.3	85.2
	その他そうざい	7,414	15.6	7,004	16.0	94.5
	小計	30,299	63.6	27,572	63.0	91.0
グリーン・グルメ		8,413	17.6	8,339	19.1	99.1
いとはん		3,457	7.3	3,030	6.9	87.7
神戸コロッケ		2,702	5.7	2,401	5.5	88.9
ベジテリア		1,212	2.5	784	1.8	64.7
融合		957	2.0	897	2.0	93.7
その他		624	1.3	735	1.7	117.9
合計		47,667	100.0	43,762	100.0	91.8

主なブランド別の概況は以下のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、「おうちで楽しむバレンタイン」や「テーブルに春を招いて。」をテーマに、コロナ禍により外出・外食を控える傾向にある中、イベントの華やかさや季節感を味わえる彩りの良いサラダ・料理などを食卓シーンとともに提案いたしました。併せて、ひと手間かけることで新鮮で華やかなサラダや本格的な料理を味わえるキット商品「作るを楽しむSALAD」や「作るを楽しむDELI」の品揃えを強化し、簡便性と食の豊かさとの両方のニーズを満たす提案を行いました。また、「RF1」ブランドから「グリーン・グルメ」ブランドへの業態変更により、売上高356百万円が「RF1」ブランドから「グリーン・グルメ」ブランドの売上高となり、売上高は27,572百万円（前期比9.0%減）となりました。

「グリーン・グルメ」ブランドにおきましては、セレクトショップとして「RF1」ブランドのサラダを中心に、「いとはん」ブランド、「融合」ブランドのサラダ・料理の販売強化を行うとともに、歳時記やイベントに合わせた品揃えにより、食卓に季節感をお届けする商品の提案を行いました。また、2015年4月期より進めておりました「RF1」ブランドから「グリーン・グルメ」ブランドへの業態変更の影響などがあったものの、売上高は8,339百万円（前期比0.9%減）となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、「旬を、冒険しよう。」をテーマに、毎月その時期の特別な味わいの素材を意外な素材と組み合わせた商品を展開し、「焼きかぼちゃとアボカドの和さらだ」や「ルッコラと味噌漬け玉子の和さらだ」など驚きのある和さらだの提案を行いました。また、強みである出汁を活かし各種具材と組み合わせた「雑穀焼きおにぎりのだし茶漬け」を品揃えし、主食としておかずと一緒に召し上がるだけではなく、夜食や朝食としてもご利用いただける新たな商品の提案を行いました。売上高は3,030百万円（前期比12.3%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、「黒毛和牛のビーフコロッケ」など定番商品の素材と製法を改めて見直し、素材の旨みや食感がより際立つようおいしさを追求するとともに、アスパラガス・里芋・れんこん・筍など香りや食感が特徴的な季節の素材を活かしたコロッケの提案を行いました。売上高は2,401百万円（前期比11.1%減）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「きれいなカラダ、飲む野菜。」をテーマに、不足しがちな野菜や果物を手軽に摂れるジュース、スープの提案や、「静岡のとうもろこし 甘々娘」や「博多あまおう&白桃」など旬の素材の甘みや香りを活かしたジュースの提案を行いました。売上高は784百万円（前期比35.3%減）となりました。

「融合」ブランドにおきましては、東南アジアの食文化のエッセンスを取り入れながら日本の食卓にも合うテイストに仕上げたサラダや料理を提案するとともに、「スパイスの重なりを楽しもう。」をテーマに、「辛みと旨みが絶妙 芳醇スパイスのよだれ鶏」などスパイスを駆使した料理の提案を行いました。売上高は897百万円（前期比6.3%減）となりました。

「その他」ブランドに含まれております連結子会社である岩田（上海）餐饮管理有限公司におきましては、2020年3月に新店舗について、新型コロナウイルス感染症の影響で集客が伸びず今後も収益の改善が見込めないと判断し、2021年3月31日に退店した結果、中国上海市に展開する店舗は2店舗となりました。卸及びオンラインショップを含む「その他」ブランドの売上高は735百万円（前期比17.9%増）となりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は43,762百万円（前期比8.2%減）、営業利益は1,107百万円（前期比133.0%増）、経常利益は1,271百万円（前期比115.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,165百万円（前期比503.1%増）となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は前連結会計年度末と比べて1,994百万円増加し、35,318百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少464百万円、売掛金の増加1,543百万円、静岡ファクトリー第4棟建設等による有形固定資産の増加841百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末と比べて1,608百万円増加し、7,130百万円となりました。これは主に、買掛金の増加500百万円、未払法人税等の増加479百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加460百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末と比べて385百万円増加し、28,187百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加1,165百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少850百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は79.8%、1株当たり純資産額は1,060円38銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて464百万円減少し、13,018百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,763百万円（前期比281百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,615百万円、減価償却費1,726百万円、売上債権の増加額1,542百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,499百万円（前期比863百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,274百万円、長期前払費用の取得による支出163百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、733百万円（前期は331百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,000百万円、配当金の支払額850百万円、長期借入金の返済による支出540百万円等によるものであります。

キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2020年4月期	2021年4月期
自己資本比率 (%)	83.4	79.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	104.2	115.8
債務償還年数 (年)	0.7	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	247.7	249.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

自己資本比率（時価ベース）：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- 各指標は、いずれも財務数値により計算しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、米国や中国を中心とする海外経済の改善や国内における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の開始を受けて持ち直しの動きが期待されるものの、収束の兆しは見え、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化するものと思われ、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

中食・惣菜業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり消費を背景に中食需要が増加する一方で、デジタルを活用したサービスの多様化によりオンラインショップやフードデリバリーサービスの利用が急増し、外食企業や飲食店による中食市場への参入を促しました。また、このような消費行動は新型コロナウイルス感染症の収束後も定着するものと考えられ、食品スーパーやコンビニエンスストアなど従来の競合だけではなく、外食企業や飲食店も含め、業界の垣根を超えた競争が今後も激化するものと思われま

す。このような状況の下、当社グループにおきましては、「私たちは、SOZAIへの情熱と自ら変革する行動力をもって、豊かなライフスタイルの創造に貢献します。」という経営理念のもと、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとした社会環境や消費行動の急速な変化を好機と捉え、デジタル技術を活用した顧客サービスの見直しと強化、全社を挙げた生産性向上等による経営体質の一層の強化並びに持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

販売部門におきましては、店頭販売におけるWEB予約・置き置きサービスの利便性向上、オンラインショップの強化及び卸事業の収益拡大に積極的に取り組んでまいります。

企画開発部門におきましては、店舗立地に合わせた商品開発、EC・卸事業に適応したキット商品や冷凍食品の開発と育成に積極的に取り組んでまいります。

生産部門におきましては、商品の更なる品質向上や機械化・少人化による生産性の向上と合わせて、EC・卸事業の拡大を見据えた冷凍食品・パッケージ商品の生産能力増強に取り組んでまいります。

以上により、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は45,382百万円（前期比3.7%増）、営業利益は1,081百万円（前期比2.4%減）、経常利益は1,120百万円（前期比11.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は711百万円（前期比38.9%減）を予想しております。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策として位置付けており、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。剰余金の配分につきましては、中長期的な事業展開のための内部留保の充実に留意しつつ、事業収益並びにキャッシュ・フローの状況等を勘案し、連結配当性向につきましては40%以上を目処にしたいと存じます。内部留保金の使途につきましては、将来の更なる発展のための店舗開発、ブランド開発などの事業投資や商品開発を目的とした研究開発投資、生産拡大や生産性向上を目指した設備更新など、経営基盤の強化と企業価値の向上に活用させていただく予定であります。

この方針のもと、当期の期末配当金につきましては、普通配当11円とする案を第49回定時株主総会に付議する予定であります。従いまして通期の配当額は中間配当1株につき9円と合わせて20円となり、連結配当性向は45.6%となります。

なお、次期の配当につきましては、1株につき年間20円（第2四半期末9円、期末11円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は、日本国内の比重が高いことから会計基準につきましては日本基準を採用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,883	13,418
売掛金	1,962	3,506
製品	32	58
仕掛品	80	108
原材料及び貯蔵品	541	571
その他	401	443
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	16,899	18,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,417	21,661
減価償却累計額	△11,258	△11,701
建物及び構築物 (純額)	7,158	9,959
機械装置及び運搬具	3,964	4,594
減価償却累計額	△2,876	△3,142
機械装置及び運搬具 (純額)	1,088	1,452
土地	2,948	2,948
リース資産	1,463	1,072
減価償却累計額	△834	△670
リース資産 (純額)	629	401
建設仮勘定	2,242	199
その他	3,017	3,061
減価償却累計額	△2,469	△2,565
その他 (純額)	548	495
有形固定資産合計	14,615	15,457
無形固定資産		
ソフトウェア	156	148
その他	20	20
無形固定資産合計	176	168
投資その他の資産		
投資有価証券	300	337
差入保証金	613	624
繰延税金資産	210	164
その他	530	485
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,632	1,589
固定資産合計	16,424	17,214
資産合計	33,324	35,318

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当連結会計年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	591	1,091
1年内返済予定の長期借入金	340	540
リース債務	353	230
未払金	639	747
未払費用	1,187	1,362
未払法人税等	—	479
賞与引当金	505	635
その他	71	65
流動負債合計	3,688	5,152
固定負債		
長期借入金	1,320	1,580
リース債務	363	235
資産除去債務	150	161
固定負債合計	1,833	1,977
負債合計	5,522	7,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,871	5,874
利益剰余金	16,525	16,840
自己株式	△196	△190
株主資本合計	27,744	28,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	62
為替換算調整勘定	46	56
その他の包括利益累計額合計	57	119
純資産合計	27,801	28,187
負債純資産合計	33,324	35,318

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	47,667	43,762
売上原価	20,456	18,364
売上総利益	27,210	25,397
販売費及び一般管理費	26,735	24,289
営業利益	475	1,107
営業外収益		
受取配当金	14	8
保険配当金	17	15
受取補償金	4	4
雇用調整助成金	57	127
為替差益	5	—
その他	27	25
営業外収益合計	125	182
営業外費用		
支払利息	8	10
固定資産売却損	—	2
為替差損	—	2
その他	1	2
営業外費用合計	10	18
経常利益	591	1,271
特別利益		
補助金収入	—	405
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	406
特別損失		
減損損失	—	27
投資有価証券評価損	—	35
特別損失合計	—	62
税金等調整前当期純利益	591	1,615
法人税、住民税及び事業税	226	427
法人税等調整額	171	23
法人税等合計	398	450
当期純利益	193	1,165
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	193	1,165

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
当期純利益	193	1,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	51
為替換算調整勘定	△11	10
その他の包括利益合計	△47	61
包括利益	145	1,227
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	145	1,227

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,544	5,866	17,182	△205	28,387
当期変動額					
剰余金の配当			△850		△850
親会社株主に帰属する当期純利益			193		193
自己株式の取得					—
自己株式の処分		4		8	13
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	4	△656	8	△643
当期末残高	5,544	5,871	16,525	△196	27,744

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	47	57	104	28,492
当期変動額				
剰余金の配当				△850
親会社株主に帰属する当期純利益				193
自己株式の取得				—
自己株式の処分				13
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△36	△11	△47	△47
当期変動額合計	△36	△11	△47	△690
当期末残高	11	46	57	27,801

当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,544	5,871	16,525	△196	27,744
当期変動額					
剰余金の配当			△850		△850
親会社株主に帰属する当期純利益			1,165		1,165
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		2		6	9
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	314	6	324
当期末残高	5,544	5,874	16,840	△190	28,068

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	11	46	57	27,801
当期変動額				
剰余金の配当				△850
親会社株主に帰属する当期純利益				1,165
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				9
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51	10	61	61
当期変動額合計	51	10	61	385
当期末残高	62	56	119	28,187

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 5月 1日 至 2020年 4月 30日)	当連結会計年度 (自 2020年 5月 1日 至 2021年 4月 30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	591	1,615
減価償却費	1,713	1,726
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	2
受取利息及び受取配当金	△14	△8
支払利息	8	10
減損損失	—	27
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	35
売上債権の増減額 (△は増加)	2,430	△1,542
たな卸資産の増減額 (△は増加)	152	△84
仕入債務の増減額 (△は減少)	△744	499
その他	△769	176
小計	3,349	2,588
利息及び配当金の受取額	9	8
利息の支払額	△10	△11
法人税等の支払額	△866	△156
法人税等の還付額	—	333
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,481	2,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△420	△420
定期預金の払戻による収入	420	420
投資有価証券の売却による収入	—	2
有形固定資産の取得による支出	△3,086	△2,274
有形固定資産の売却による収入	—	3
無形固定資産の取得による支出	△39	△58
長期前払費用の取得による支出	△210	△163
差入保証金の差入による支出	△57	△35
差入保証金の回収による収入	15	31
その他	14	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,363	△2,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△455	△540
リース債務の返済による支出	△364	△342
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△849	△850
財務活動によるキャッシュ・フロー	331	△733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△559	△464
現金及び現金同等物の期首残高	14,042	13,483
現金及び現金同等物の期末残高	13,483	13,018

（5）連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 1社

連結子会社の名称

岩田（上海）餐飲管理有限公司

(2) 非連結子会社の名称等

非連結子会社

株式会社コウベデリカテッセン

非連結子会社は、小規模であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除いております。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法を適用していない非連結子会社（株式会社コウベデリカテッセン）は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は12月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては2021年3月31日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

② たな卸資産

製品・仕掛品・原材料及び貯蔵品

主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

主として定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物	7年～50年
機械装置及び運搬具	6年～10年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）による定額法を採用しております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収の可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充てるため、支給期間に対応した支給見込額を計上しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産及び負債は、当該在外子会社の仮決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて表示しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金及び要求払預金並びに取得日から3か月以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ価値の変動リスクについて僅少なリスクしか負わない短期投資を資金の範囲としております。

(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大とこれに伴う経済活動の停滞は、2022年4月期もその影響が継続し、当社グループの業績にも影響があるものと仮定して会計上の見積りを行っております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確実性が高く、感染拡大が長期化した場合や深刻化した場合は、当社グループの業績もこれに伴い変動する可能性があります。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記して表示しておりました「営業外収益」の「保険返戻金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「保険返戻金」15百万円、「その他」11百万円は、「その他」27百万円として組み替えております。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数 (株)	当連結会計年度 増加株式数 (株)	当連結会計年度 減少株式数 (株)	当連結会計年度 末株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	26,788,748	—	—	26,788,748
合計	26,788,748	—	—	26,788,748
自己株式				
普通株式 (注)	222,811	—	9,641	213,170
合計	222,811	—	9,641	213,170

(注) 普通株式の自己株式の株式数の減少9,641株は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による減少であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年7月25日 定時株主総会	普通株式	611	23	2019年4月30日	2019年7月26日
2019年12月11日 取締役会	普通株式	239	9	2019年10月31日	2020年1月17日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年7月29日 定時株主総会	普通株式	611	利益剰余金	23	2020年4月30日	2020年7月30日

当連結会計年度（自 2020年5月1日 至 2021年4月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数（株）	当連結会計年度 増加株式数（株）	当連結会計年度 減少株式数（株）	当連結会計年度 末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	26,788,748	—	—	26,788,748
合計	26,788,748	—	—	26,788,748
自己株式				
普通株式（注）	213,170	156	7,440	205,886
合計	213,170	156	7,440	205,886

- （注） 1. 普通株式の自己株式の株式数の増加156株は、単元未満株式の買取156株によるものであります。
 2. 普通株式の自己株式の株式数の減少7,440株は、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による減少7,404株、単元未満株式の買増請求36株によるものであります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日
2020年7月29日 定時株主総会	普通株式	611	23	2020年4月30日	2020年7月30日
2020年12月9日 取締役会	普通株式	239	9	2020年10月31日	2021年1月20日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

（決議予定）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日
2021年7月28日 定時株主総会	普通株式	292	利益剰余金	11	2021年4月30日	2021年7月29日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)及び当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

当社グループは、そうざい事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額	1,046.15円	1,060.38円
1株当たり当期純利益	7.27円	43.84円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当連結会計年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	193	1,165
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	193	1,165
普通株式の期中平均株式数(株)	26,572,759	26,580,760

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

上記以外の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,819	13,360
売掛金	1,954	3,490
製品	32	58
仕掛品	80	108
原材料及び貯蔵品	539	569
前払費用	163	162
その他	236	279
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	16,823	18,026
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,854	9,608
構築物	304	351
機械及び装置	1,072	1,410
車両運搬具	16	42
工具、器具及び備品	536	484
土地	2,948	2,948
リース資産	629	401
建設仮勘定	2,242	199
有形固定資産合計	14,603	15,446
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	156	148
電話加入権	19	19
無形固定資産合計	176	168
投資その他の資産		
投資有価証券	187	224
関係会社株式	113	113
関係会社出資金	222	98
長期前払費用	385	365
差入保証金	602	612
繰延税金資産	239	164
その他	120	118
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	1,838	1,665
固定資産合計	16,619	17,280
資産合計	33,442	35,306

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	587	1,084
1年内返済予定の長期借入金	340	540
リース債務	353	230
未払金	638	743
未払費用	1,187	1,361
未払法人税等	—	479
預り金	56	57
賞与引当金	505	635
その他	13	6
流動負債合計	3,682	5,140
固定負債		
長期借入金	1,320	1,580
リース債務	363	235
資産除去債務	150	161
固定負債合計	1,833	1,977
負債合計	5,516	7,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金		
資本準備金	5,861	5,861
その他資本剰余金	10	13
資本剰余金合計	5,871	5,874
利益剰余金		
利益準備金	179	179
その他利益剰余金		
配当準備積立金	100	100
別途積立金	6,396	6,396
固定資産圧縮積立金	10	274
繰越利益剰余金	10,009	9,947
利益剰余金合計	16,695	16,896
自己株式	△196	△190
株主資本合計	27,914	28,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11	62
評価・換算差額等合計	11	62
純資産合計	27,926	28,187
負債純資産合計	33,442	35,306

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年 5月 1日 至 2020年 4月 30日)	当事業年度 (自 2020年 5月 1日 至 2021年 4月 30日)
売上高	47,508	43,578
売上原価	20,352	18,251
売上総利益	27,155	25,327
販売費及び一般管理費	26,644	24,174
営業利益	511	1,152
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	14	8
保険配当金	17	15
受取補償金	4	4
雇用調整助成金	57	127
その他	24	14
営業外収益合計	118	170
営業外費用		
支払利息	8	10
固定資産売却損	—	2
その他	0	1
営業外費用合計	9	14
経常利益	619	1,309
特別利益		
補助金収入	—	405
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	406
特別損失		
減損損失	—	27
投資有価証券評価損	—	35
関係会社出資金評価損	—	123
特別損失合計	—	186
税引前当期純利益	619	1,530
法人税、住民税及び事業税	226	427
法人税等調整額	171	51
法人税等合計	398	478
当期純利益	221	1,051

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						配当準備積立金	別途積立金
当期首残高	5,544	5,861	5	5,866	179	100	6,396
当期変動額							
剰余金の配当							
当期純利益							
自己株式の取得							
自己株式の処分			4	4			
固定資産圧縮積立金の積立							
固定資産圧縮積立金の取崩							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	4	4	—	—	—
当期末残高	5,544	5,861	10	5,871	179	100	6,396

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	11	10,637	17,324	△205	28,529	47	47	28,577
当期変動額								
剰余金の配当		△850	△850		△850			△850
当期純利益		221	221		221			221
自己株式の取得					—			—
自己株式の処分				8	13			13
固定資産圧縮積立金の積立								
固定資産圧縮積立金の取崩	△0	0	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△36	△36	△36
当期変動額合計	△0	△628	△628	8	△614	△36	△36	△650
当期末残高	10	10,009	16,695	△196	27,914	11	11	27,926

当事業年度 (自 2020年 5月 1日 至 2021年 4月 30日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						配当準備積立金	別途積立金
当期首残高	5,544	5,861	10	5,871	179	100	6,396
当期変動額							
剰余金の配当							
当期純利益							
自己株式の取得							
自己株式の処分			2	2			
固定資産圧縮積立金の積立							
固定資産圧縮積立金の取崩							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	2	2	—	—	—
当期末残高	5,544	5,861	13	5,874	179	100	6,396

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	10	10,009	16,695	△196	27,914	11	11	27,926
当期変動額								
剰余金の配当		△850	△850		△850			△850
当期純利益		1,051	1,051		1,051			1,051
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分				6	9			9
固定資産圧縮積立金の積立	281	△281	—		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩	△18	18	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						51	51	51
当期変動額合計	263	△62	201	6	210	51	51	261
当期末残高	274	9,947	16,896	△190	28,125	62	62	28,187